



# 大運動会

美麻小中学校の運動会は、今年から保育園も参加した保小中合同の大運動会として、盛大に行われました。

中でも、4～9年生全員参加で作った7段巨大ピラミッドが完成すると、会場は大歓声に包まれました。



# 地域の文化を伝えよう！



美麻の地名になっている『麻』の文化を子どもたちに伝えるため、麻煮（おに）と『麻掻き（おかき）』のワークショップを8月23日に学校で開催しました。

麻煮（おに）とは、麻の繊維をはがし易くするために麻を煮る作業。麻掻き（おかき）は、煮た麻の茎から表皮を剥ぎ取る作業です。

この日は、昔作業をしていた地区の皆さんを講師に迎え、美麻小中学校が作業を体験しました。

## 【材料】

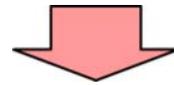
この日使われた麻は、はるばる栃木県の麻農家さんが運んでくれました。

現在手に入る麻は、このトチギシロという品種だけです。



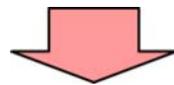
## 【麻煮（おに）】

麻を煮る釜（写真右）は、桶の内側に釜を入れる縦型の古いタイプを使用しました。



長い麻の茎は、釜に半分づつしか入りません。途中で天地返しをする作業は、重労働で、男性の仕事でした。

作業効率を上げるため、釜の形も縦型から、横型に変化していったとのことでした。



釜で煮た麻の茎は、水槽に浸されて、表面の皮をはがしやすくなります。



## 【麻搔き（おかき）】

煮た茎から皮をはがす作業です。私たちが麻と読んでいる繊維は、この皮の部分です。麻の繊維は加工方法によって、上質の衣類から、大きな船を港に係留するロープにまで幅広く使われていましたが、化学繊維の普及により使われなくなり、現代では、神主さんがお払いの時に使う大麻（おおぬさ）や、凧の糸など限られた物に使われています。



麻搔き（おかき）は、煮た麻の茎から皮をはがして、麻搔き板の上で皮を剥ぎ取り、繊維にする作業で、女性の仕事でした。



ワークショップの様子は、新聞にも取り上げられました。  
(8月24日 信濃毎日新聞)



わたしは、5時間目に麻のかわをむきました。

さいしょに麻の皮をはぎました。皮をはぐときにむずかしいと思ったけどいがいとつるっとむけました。

次に麻の皮のざらざらをけずる作業をしました。けずるための刀を調せつしたり、やぶれた所がひっかかったりしてむずかしかったです。しかし上手くけずれたのでよかったです。

初めてでしたが、作り方が分かってよかったです。(3年 青木萌花)

麻かきをするために、麻の皮をはぎました。麻の皮は柔らかくて、さけてしまったり、と中で切れたりしました。皮をはいだら、皮をこする包丁のような物でかたい面をすりました。ぼくは麻が切れてしまったり、さけてしまったりして、うまくできませんでした。

麻の皮は干して、あんで、みんなで縄を作りたいです。干した麻の皮はパリパリしていました。引っぱっても切れませんでした。貴ちゃんな体けんができてうれしかったです。(4年 海端悦郎)

## みんなで作るコミュニティスクール ①

### コミュニティスクールの視察に行ってきました。(8/27)



飯山市の秋津小学校

美麻小中学校コミュニティスクール推進委員会では、八坂地区義務教育を考える懇話会とともに、木島平小学校、木島平中学校、飯山市の秋津小学校の視察を行いました。木島平小学校、木島平中学校は、コミュニティスクールへの準備を行ってきた学校で、ほとんどのクラスでは一斉授業とはちがってグループ学習などを行っていて、中学校の先生が小学校へ行って教えるなど、小中一貫の取り組みも進めてきた学校です。

美麻小中学校の塩原校長先生の前任校である木島平中学校では、小学校との連携で中学の学習環境が整っているという声を聞きました。木島平小学校では、夏休みの宿題が廊下に張り出

してありましたが、そのレベルの高さに委員みんなが感心、また学校を美術館という取り組みで至るところに生徒の作品が展示されていて、教育環境の充実がとても素晴らしかったです。

秋津小学校では3年目を迎えるコミュニティスクールの実情を見せていただきましたが、放課後教室やクラブ活動などへの地域の方の参加指導などの現状をお話を伺ったり見せていただいたりしました。その中で、地域の関わり方や行政の関わり方にも問題点を感じる部分もありました。ただコミュニティスクールにすればいいというものでなく、よりよい教育の環境を整えるためには、しっかりした視点で検討し、地域の積極的な参加が必要と感じた視察でした。



## 大塩区民交流会

大塩地区では、9月22日、富士浅間神社の前夜祭、9月23日本祭りが行なわれ、前夜祭には、本年度は東組が舞台当番で、ひき舞台には新田義貞の木偶（でく）が飾られ前夜祭に奉納されました。

神事のあと大塩地区区民交流会が開催しました。まず、美麻源流太鼓のメンバーが演奏、その素晴らしさに多くのおひねりが飛んでいました。その後、南村、北村、中村、3地区のおはやし披露が行なわれ、最後は、松川村の風まんだらというグループ

が、手品や落語、南京玉簾などの大道芸も披露していただきました。若連青葉会では、おでんやたこ焼き、射的などのゲームなどを行なって、子供たちも楽しんでいました。



## 灯籠でライトアップ

二重地区のPTAでは、親子で水上神社の夜祭りに舞台を引くコースに灯籠を立ててライトアップしています。今年も、子どもたちが絵を描いた灯籠およそ100個を



取り付けました。

日が暮れると、舞台を引く人の足元をほんのり照らす光の列が滑走路のようにお宮まで続き、真っ黒な夜空に打ち上げ花火が大輪の花を咲かせるのを見ながら、光のお城のような舞台がゆっくり、ゆっくりと進み今年も祭りが始まりました。

## 学校田に電気柵設置

小学校5年生の田んぼでは、設置したカシガイノシシとの戦いで、くたびれてきたので電気柵を設置しました。

ついでに水路を清掃したら、なんと「ドジョウ」がいました。



## めざせ！ふるさとCM大賞

6年生が、ふるさとCM大賞に向けて美麻地区のCMを制作中です。



# 秋の大運動会

(9月14日 美麻小中学校)

小中学校の運動会は、今年から保育園の運動会も一緒に開催することとなりました。

秋空の元、例年よりもにぎやかに開催されました。

## 運動会をふりかえって

運動会をふりかえってみて「一人一人協力することが大切」ということが分かりました。組体操でも、なかよし班リレーでも一人でも気をゆるめると成功しないということです。でも、今年の運動会はみんな集中していたし、みんな気をひきしめていた

ので、点数でも引き分けて良かったです。赤組も白組も同じくらい（自分にとって最高？の）力を出していたのかなと思います。

組体操も成功したので良かったです。

(6年 鈴木うらら)



## 小林君相撲で全国大会に！



中学校に来て3回目の全国大会なのであまり緊張はしませんでした。結構小柄な人もいたので、勝てるかなという気持ちもありました。相撲の練習は火曜日、金曜日、土曜日、日曜日の週4回、長野市の運動公園の室内

土俵に行って、長野市内の仲間と一緒に1日2時間やって来ました。得意技は左四つに組んでの寄り切りです。

全国大会の1日目は予選の3試合をしましたが、自分としてはまだまだ余裕を持って勝ち上がることができました。2日目はいよいよ決勝トーナメントでした。1戦目、2戦目は余裕をもって勝つことができましたが、ベスト8

を賭けて戦った3戦目は相手は小柄な選手だったので勝てるかなと思いました。でも動きが速くて捕まえきれずに潜られてしまい、突き落とされてしまいました。とても悔しかったです。

相撲をやって来て、心から楽しめるものが見つかりました。そしてとても良い仲間と巡り会うことができました。本当に相撲をやって来て良かったと思います。こんな僕を3年間応援していただき、本当にありがとうございました。

(9年 小林涼太)





## 登山を終えて

今回みんなで行った爺ヶ岳が私にとって初めての登山でした。初めてのことだし、体力にも自信がないので最後まで登りきれるか不安もあったのですが、登っていくうちに下に見える景色はとても綺麗で、上へ

上へ行くことがとても楽しくなりました。

二日目には早朝のまだ薄暗い内にご来光を見に南峰まで行きました。登るのはとても大変ですが、見られたときの達成感はもっと大きいです。この登山でとても良い経験ができて良かったです。

(8年 北澤幸理)

## 美麻地区夏期球技大会の結果

8月25日に開催された球技大会の結果は、次のとおりです。(美麻公民館)

### ソフトボール



優勝 二重ベアーズ  
準優勝 青具  
第3位 千見パワーズ

### ソフトバレー



40歳未満の部  
優勝 青具A  
準優勝 千見パワーズ  
第3位 二重エンジェルス  
40歳以上の部  
優勝 青具B  
準優勝 二重レディース  
第3位 大塩しずか

### ゲートボール



優勝 大塩  
準優勝 青具  
第3位 二重



## 多くの方が視察に

9月4日に美麻小中学校前校長の山浦先生が転任された地域の公民館や教育委員会、住民の皆さん28名が、地域づくり会議と学校連携事業について、9月20日には、東京財団週末学校（市区町村職員人材育成プログラム）の若手職員グループ7名が地域づくり活動について、相次いで視察に来ていただき、美麻地域づくり会議の取り組みについてお話しさせていただきました。



上田市西部公民館の皆さん(9/4)

どちらも熱心に話を聞いていただき、視察後の感想やお礼のメールや手紙をいただきました。

人口1000人の村でどうしてこんな取り組みができるのかと、どちらの方にも驚かれました。改めて長年続けてきた地域づくり会議の取り組みが、様々な方から注目されているんだなと感じました。



東京財団週末学校の皆さん(9/20)

## 自転車ロードレース外伝

今年の自転車ロードレースのインターネットライブ中継は、初めて車載カメラからの生中継を試みました。

結果は、山間部を除いたコースの7割ほどをカバーすることができました。来年は今年以上に大勢の皆さんにレースを楽しんでいただけたと思います。



車載カメラの録画映像はYouTubeでご覧いただけます。アドレスは、  
<http://goo.gl/ClnB3H>

## 美麻市民+1 選考中



美麻市民科のゆるキャラづくりが架橋を迎えています。12候補から1次選考で4つに絞られました。現在、梨の木化祭の最終投票に向けて1/6の縮小模型を製作中です。



■ 編集・発行

美麻地域づくり会議

住所 大町市美麻11810-イ 電話29-2311 FAX29-2333 ・ 電子メール info@miasa.info